

一般社団法人日本音響家協会北陸支部 第13回定時支部社員総会議事録

一般社団法人日本音響家協会北陸支部は、2019年5月15日（水）、12時00分～12時40分、金沢市民芸術村 第1研修室において、第13回支部定時社員総会を開催した。

支部長の山本広志氏の挨拶後そのまま議長として着席。本総会が支部正会員総数38名、出席総数が27名（内委任14名）で定足数を超える議決権数がありこの支部総会が成立していることを確認。総会の開会を宣言し議事に入った。

第1号議案 2018年度支部活動報告

議長の指名により支部事務局長の山崎氏より以下の活動実績報告が行われた。

【1】第12回定時支部社員総会

2018年5月8日（火）14時より金沢市近江町交流プラザ4F研修室1において開催。全支部会員37名、総会出席者31名（内委任状提出者18名）で、前年度事業及び決算報告の承認、新年度事業計画及び収支予算が承認された。

【2】2018年度北陸支部特別運営委員会

第12回定時社員総会終了後、特別運営委員会を開催。新年度運営委員の12名中9名の参加、新運営委員の互選により以下のように新年度役員が決定した。

支部長：山本 広志 副支部長：吉田 正勝、西畠 理

事務局長：山崎 武志 会計：堀 裕一

事業推進委員：吉田 正勝、西畠 理、山崎 武志、堀 裕一、岩崎 証意、鷹栖 了
杉本 慎介、本 輝夫、山口 雅照、高木 智裕、永原 諒

A&T編集委員：西畠 理

小音響かわらばん編集委員長：山本 広志、編集員：岩崎 証意、堀 裕一、西畠 理

支部推薦理事：鷹栖 了

監 査：鹿野 浩司

【3】第1回音響セミナー 音響講話 「音響機器を雑音から守る術」

日 時：2018年5月8日（火）15時～16時30分

場 所：金沢市近江町交流プラザ 研修室1

講 師：伊代野 正喜氏（ザ・ゴールドエンジン相談役、日本音響家協会評議員）

参加費：会員無料、非会員1,000円

参加者：19名（会員：15名 非会員：4名）

実行委員：支部運営委員

実施概要：ノイズの侵入経路や発生源、抵抗・コンデンサー等からも熱雑音が発生している事、バランスケーブルでもコネクター内部で被服を剥した部分からもノイズが侵入する事、また、S/Nを向上させる為のヘッドアンプやパワーアンプのレベル設定の考え方、ノイズの音を聞いて発生源を特定出来てゆける様になる事等、改めてノイズへの対応策について学んだ。セミナー終了後講師を囲み交流会（11名参加）を開催した。

【4】会員交流会「暑気払い」の開催

毎年恒例となっている北陸支部会員交流会「暑気払い」を2018年8月28日（火）19時～アパホテル金沢駅前2F「彩旬」にて開催した。小音響かわらばんや案内はがきを支部会員に送付して参加者を募り7名が参加した。

【5】第2回音響セミナー 「金沢市文化ホール 改修見学会」

日 時：2018年12月19日（水）14時00分～16時30分

場 所：金沢市文化ホール

講師：吉田 幸光氏、坂東 渉氏、山口 雅照氏（金沢市芸術創造財団）
神谷 研史氏（金沢市役所営繕課）
中村 宏貴氏（ジャトー株式会社）
共催：公益財団法人金沢芸術創造財団
後援：富山県公立文化施設協議会・石川県公立文化施設協議会
福井県公立文化施設連絡協議会
参加費：無料
参加者：65名（会員12名、非会員53名）
実行委員：支部運営委員
実施概要：建物全体の改修点をはじめ、舞台機構設備・照明設備・音響設備それぞれについての更新状況について説明を受け、その後現場見学を行った。時代のニーズを反映したコンベンション機能の充実と共に耐震補強の実際や舞台機器更新の実際について学んだ。また、見学会終了後会員及び有志で交流会（20名参加）を開催した。

【6】第3回音響セミナー 「旧規格スプリアス対応ワイヤレスマイクについて
&メーカー各社の最新ワイヤレスマイク事情」

日時：2019年2月5日（火） 13時～16時30分
場所：金沢市民芸術村 P I T 1 マルチ工房
講師：浅野 智仁氏（ヒビノアークス株式会社 システム部 営業グループ）
後援：富山県公立文化施設協議会・石川県公立文化施設協議会
福井県公立文化施設連絡協議会
協力：ヒビノ株式会社、ボーズ合同会社、ゼンハイザージャパン株式会社
株式会社オーディオテクニカ T O A株式会社
参加費：会員：無料 非会員：500円
参加者：37名（会員：13名 非会員：11名 展示メーカー 13名）
実行委員：支部運営委員
実施概要：講座ではなぜ旧規格スプリアス発射が規制を受けるかということについての技術的な解説を行った。また、実機の展示協力頂いたメーカーの各担当より最新機器のプレゼンをして頂いた。セミナー終了後片山津温泉にて各メーカー担当者の参加も得て交流会（13名参加）を開催した。

【7】会員情報紙「小音響かわらばん」発行

- (1) 4月・6月・8月・10月・12月・3月に毎号190部の発行(内、電子メールによる配信80部)で、2018年度は6回発行した。
- (2) オタリテック株式会社、株式会社エムアンドエヌ、浪花千葉音響計画有限会社、ヤマハサウンドシステム株式会社、ヒビノ株式会社の5社から広告出稿を得て広告料収入を「かわらばん」発行経費に充当した。尚、5社に加え森平舞台機構株式会社から12月・3月号に広告協賛を頂いた。

【8】支部会員派遣事業

2019年2月27日～3月1日に幕張メッセで開催された「第6回ライブ・エンターテイメントEX PO&マイクケーブル8の字巻きグランプリ2019」へ支部から杉本慎介氏を派遣、開催されたセミナーの聴講・8の字巻きグランプリに参加した。また、最新機器が展示された会場を見学し知見を深めて頂いた。

【9】会 議

(1)運営委員会

2018年5月8日、6月14日、8月28日、10月17日、12月19日、2019年2月5日に金沢市民芸術村第1会議室他にて計6回開催した。また、運営委員会報告はSEAS公式ウェブサイトに抄録を掲載した。

第2号議案 2018年度決算報告

議長の指名により会計の堀氏より決算報告が行われた。

- 【1】本議案書の別紙 別表-1 決算報告書のとおり
- 【2】会計監査報告

会計の堀氏の決算報告後、監査委員の鹿野氏が業務の都合で総会欠席の為、議長の指名により事務局長の山崎氏が監査報告書を代読し報告が行われた。

以上の2議案について提案した後、議長は質疑と討議を促したが質疑無し。議長が議案採決を求めたところ出席社員全員の拍手で2議案まとめて承認された。

第3号議案 2019年度事業計画（案）

議長の指名により支部事務局長の山崎氏より活動計画報告が行われた。

- 【1】第1回運営委員会
日 時 : 2019年4月11日(水) 19時30分 ~ 21時
場 所 : 金沢市民芸術村 会議室1
議 題 : 第3回音響セミナー結果報告・ライブエンターテイメントEXPO参加報告
本部理事会/事務局長会議報告
第13回支部社員総会/第1回音響セミナー審議・その他
- 【2】第13回定時支部社員総会
日 時 : 2019年5月15日(水) 12時 ~
場 所 : 金沢市民芸術村 研修室1
議 題 : 2018年度事業報告・決算・2019年度事業計画(案)・予算(案)
- 【3】第1回音響セミナー「小ライブコンサートのSRテクニックと
小型スピーカーの聴き比べ」
日 時 : 2019年5月15日(水) 13時30分~16時30分
場 所 : 金沢市民芸術村 パフォーミングスクエア
講 師 : 奥山 竜太氏
(音響プランナー・オペレーター、日本音響家協会東日本支部副支部長)
参 加 費 : 会員 無料、 非会員 1,000円
- 【4】第2回音響セミナー
実施時期 : 2019年 12月中旬~下旬
場 所 : 金沢市
内 容 : 未 定
- 【5】第3回音響セミナー
実施時期 : 2020年2月頃
場 所 : 福井県
内 容 : 未 定
- 【6】サウンドA&T特集記事の企画編集
日本音響家協会発行誌「サウンドA&T」2019年10月号の特集記事を北陸支部が担当し、企画編集の準備をする。

【7】会員情報紙「小音響かわらばん」発行 年間6回

(1)偶数月（4月・6月・8月・10月・12月・2月）に毎号190部(内、電子メールによる配信80部)の発行をする。

(2)オタリテック株式会社、株式会社エムアンドエヌ、浪花千葉音響計画有限会社、ヤマハサウンドシステム株式会社、ヒビノ株式会社、森平舞台機構株式会社の計6社より広告協賛を頂き発行経費に充当する。

第4号議案 2019年度予算(案)

議長の指名により会計の堀氏より予算案の報告が行われた。

【1】本議案書の別紙 別表-2 予算案のとおり

議長は以上の2議案について提案した後、質疑と討議を促し議案の承認を求めた所、出席社員全員からの拍手により全員一致で承認された。

以上を以ってすべての議事が終了したので、議長は12時40分に閉会を宣し、第13回第北陸支部定時社員総会を終了した。

以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し議長たる支部長が記名押印する。

2019年5月15日

一般社団法人日本音響家協会北陸支部長
(議事録作成者支部事務局長)

山本 広志
山崎 武志)



(別表一1)

自 2018年4月1日		一般社団法人 日本音響家協会	
至 2019年3月31日		北陸支部	
2018 年度決算書			
(単位 円)			
収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
一般収入		一般管理費	
運営補助費	136,486	消耗品費	1,048
前年度繰越金	38,638	通信発送費	6,882
雑収入	0	旅費交通費	66,020
小計	175,124	接待交際費	0
事業収入		会議費	21,487
受講料	9,500	雑誌出版費	0
参加費	0	新聞図書費	0
寄付金・助成金	0	支払手数料	0
協賛・協力金	105,840	租税公課	0
企画制作料	0	借入金返済	0
短期借入金	0	備品費(消耗品)	0
雑収入	5,020	雑費	0
小計	120,360	小計	95,437
		事業費	
		消耗品費	0
		通信発送費	44,244
		謝金	0
		会場費	2,700
		旅費交通費	57,774
		接待交際費	11,710
		会議費	33,000
		賃借料	2,000
		印刷費	48,000
		手数料	
		小計	199,428
収入合計	295,484	支出合計	294,865
		今年度剰余金	619
合計	295,484	合計	295,484

2019年5月2日

一般社団法人日本音響家協会北陸支部
支部長 山本広志 殿

一般社団法人日本音響家協会北陸支部
監査 鹿野浩司 印

監査報告書

定款施行細則第59条の規定に準用し、北陸支部の2018年度（2018年4月1日～2019年3月31日）の事業報告及び決算報告を監査しましたので以下の通り報告します。

1 監査の方法

2018年度は、定例運営委員会の会議議事録、各事業の計画書、事業報告書等の書類の閲覧、ならびに支部発行の「小音響かわらばん」の閲覧、および財務状況に調査のため会計帳簿、入出金明細伝票および証拠書類等を精査し、業務の執行状況および財務の状況について監査いたしました。

2 事業報告に関する監査

定時支部社員総会議案書の「事業報告」を監査しましたので、報告いたします。

- (1) 事業報告および会計報告は、各事業の執行が適正に報告されていると認めます。
- (2) 運営委員の職務の執行に関し、不正な行為または法令や定款に違反する事実はないものと認めます。

3 各種事業の業務執行に関する監査

(1) 会議の運営

ア. 定時支部社員総会について

総会の招集手続きは、概ね開催日1カ月前に支部会員全員に往復はがきにて、議題、必要事項、委任方法を明記して告知し、返信はがきによる出欠の確認および委任状の提出等で議決行使を保障しており、会議における進行、採決の手続きについて適則に運営していることを認めます。

イ. 運営委員会について

運営委員会は、隔月定期的に金沢市民芸術村会議室で開催されており、出席率8割以上である。議題も事前に告知され、会議録も整理されている。事業企画にあたっては運営委員の意見が十分に配慮され、民主的に運営されていると認めます。

(2) 北陸支部事業の実施状況と評価

2018年度の事業実施状況については、事業計画に基づき、運営委員会で承認された各事業を担当する運営委員で実行委員会を組織し、責任を持って執行していること、また計画書および報告書が適切に記載されていることを認めます。

ア. 第1回音響セミナー

音響講話「音響機器を雑音から守る術」5月8日 金沢市近江町交流プラザ
当協会評議員伊代野正喜氏を講師にお招きして、開催。なかなか聞けない重要な問題

であり、セミナーの内容について運営委員の企画に感謝いたします。またこのセミナーは、支部社員総会に併せて実施しており総会に参加する会員に参加しやすい方法と考えられます。総会と同時開催は、今後も継続していくべきだと思います。

イ、 第2回音響セミナー

「金沢市文化ホール 改修見学会」 12月19日 金沢市文化ホール

1年間の休館を経て、再スタートした金沢市文化ホールの改修見学会は、65名の参加者があり、まさにタイムリーなセミナー企画でした。行政の財政難等で改修が進まない現状の中で、それぞれ担当がアイデアを出しながら最小限の予算の範囲内で努力している事がよく理解が出来たのではないのでしょうか。

ウ、 第3回音響セミナー

「旧規格スプリアス対応のワイヤレスマイクについて&メーカー各社の最新ワイヤレス事情」 2月5日 金沢市民芸術村 PIT1

37名余の参加があり盛況なセミナーとなりました。法律の改正により使用できなくなる機器の情報をいち早く理解し、対応する良い企画だったと思います。今回、音響メーカー各社の全面的な支援を受けての講座となり内容もとても充実しており、特に最新機材の状況もよく理解できました。

(3) 小音響かわらばんの発行 109号~114号

内容も会員相互の情報交換の場として定着した北陸支部独自の事業となりました。セミナー報告もあり参加できない会員にも情報が提供されています。経費も各社の協賛金以内に収まっており、支部の財政に負担をかけていないことは高く評価できます。

4 決算報告の監査

2018年度の北陸支部会計決算について定款施行細則第8条のに基づき、監査しましたので報告します。入金伝票、会計帳簿、その他証拠書類を監査した結果、収入支出とも適正に処理されていることを認めます。

追記

今年度のセミナーは、全般的の多くの参加者が会ったことは喜ばしいことであり地域における支部の貢献が多かったと考えます。魅力的な企画事業や支部の活動が見える運営を行い、協会の良さをPRすることが大切です。今後努力を期待いたします。

以上

(別表一 2)

自 2019年4月1日		一般社団法人 日本音響家協会	
至 2020年3月31日		北陸支部	
2019 年度予算書(案)			
(単位 円)			
収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
一般収入		一般管理費	
運営補助費	136,486	消耗品費	1,000
前年度繰越金	619	通信発送費	10,000
雑収入	0	旅費交通費	48,000
小 計	137,105	接待交際費	0
事業収入		会議費	20,000
受講料	10,000	雑誌出版費	0
参加費		新聞図書費	0
寄付金・助成金		支払手数料	1,000
協賛・協力金	162,000	租税公課	2,100
企画制作料		借入金返済	0
短期借入金		備品費(消耗品)	0
雑収入		雑 費	0
小 計	172,000	小 計	82,100
		事業費	
		消耗品費	4,005
		通信発送費	43,000
		謝 金	45,000
		会場費	15,000
		旅費交通費	35,000
		接待交際費	10,000
		会議費	27,000
		貸借料	0
		印刷費	48,000
		雑 費	0
		小 計	227,005
収入合計	309,105	支出合計	309,105
合 計	309,105	合 計	309,105